

GF-1

すべての束縛から解放され、音楽をあるがままに映し出すグランドフロアスピーカ。

過去のすべてを超越するため

設計を規制する要素の排除に努めました。

この世にスピーカといわれるものは数多く在りますが、いずれも一長一短、帯に短したすきに長し、といったものばかりです。これは、スピーカシステムを考えるとき、多くの制約事項の枠の中でサウンドコンセプトを練り上げなくてはならない、という宿命を背負っていたためです。GF-1の開発に際しては、真に良きものを創り上げていく時に立ちはだかる様々な制約をことごとく取り払い、すべての過去を超えることができるの信念を持つことがその第一歩でした。

そのため、純粋に音と音楽というファクターだけを頼りに開発を行い、ディスクに記録された音楽のすべてを立体感をともなるとあるがままに再現し尽くすため、マルチアンプシステム、YST方式スーパーウーファ+3ウェイなど、常識にとらわれることのない設計を行い思い描く理想の音を寸分の妥協もなく追い求めました。

GF-1。それは万人に程々の満足感を与えるよりも、たとえ万人に一人であったとしても、身も世もあらぬ喜びを与えたいという、私たちの願いを込めて、純粋に音と音楽のために生まれたスピーカシステムです。

理想のダイアフラムを求め

鍛造ベリリウム&ケブラーを採用。

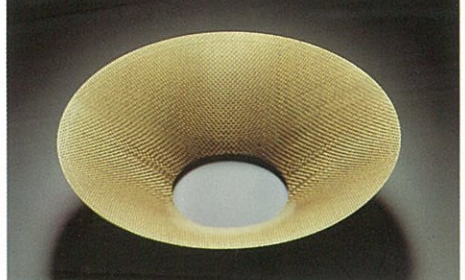
スピーカユニットにとってもっとも大切なのはいうまでもなくダイアフラムであり、その素材の選択がスピーカシステム全体の将来を決めるといっても過言ではないでしょう。GF-1の開発にあたっては数多くの素材との比較評価を行い、中高域ユニットにはヤマハが開発した軽く、強く、高域限界周波数(共振点)の高い理想的ダイアフラム素材「鍛造ベリリウム」を、低域ユニットには有機性の高弾性繊維で軽くコシがありS/N感も良好な「ケブラー(KEVLAR#149)」を採用しています。これらのダイアフラム素材の採用により、ゆったりと豊かでありながら繊細で艶やか、しかも情報量豊かな再生を実現します。このほとんど完全といえるダイアフラムに、さらに細かな

■ツイーター/スコカダイアフラム



音質調整を施すため、純金を表面に蒸着。わずかに残っているベリリウムの鳴きをダンプリ、純粋で濁りのない音の再生を実現するとともに、防触性も兼ね備えています。もちろんケブラーコーンにも金蒸着を施し、細かな音質調整とユニットごとの音質の統一につとめました。

■ミッドウーファダイアフラム



柱状結晶アルニコマグネット採用

軽量ショートボイスコイルとフレーム設計。

マグネット素材には、音質的に透明感があり、響きが美しく音場感に優れた再生を実現するアルニコの中でも、特性的にもっとも優れた柱状結晶アルニコを全ユニットに採用しました。柱状結晶アルニコは、ネオジウムの約3倍、フェライトの約6倍もの磁束密度を持つ

ており、ダイアフラムの動きを阻害することのないマグネット形状を実現しています。

こうした理想的素材の採用とともに、それぞれのユニットが極力広い周波数レンジを再生できるように設計しています。その方がはるかに軽く伸びのある低音が再生できるためです。したがって、ダイアフラムは軽量、カーブドコーンを採用し、ボイスコイル口径は極力小さく、かつベリリウムキャップとすることで高域までレスポンスよく伸ばしています。とりわけボイスコイルはショートタイプとし、大幅な軽量化を図っています。さらに、マグネットの内径を大きくするとともにフレームに空気抜きをあげるなどして、ダイアフラムの動きを規制することのない設計とし、レスポンスの良い、ゆったりと豊かでダイナミックレンジの広い自然な音の再生に貢献しています。

豊かでハイクオリティな低音再生、YST方式。

スーパーウーファには画期的な低音再生方式である、YST(ヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジー)を採用。通常であれば38cm以上のユニットが必要とされるころを、GF-1では、30cmユニットで25Hz(-5dB)という低域再生を実現し、60Hz以下を受け持っています。YST方式の場合、ポート内の空気自身が振動板の働きをするエアウーファを実現し、伸びのある低音が軽々とレスポンスよく再生され、これにより、音場感の再現性や音像定位などが大幅に向上しています。

LCネットワークシステムによる様々な規制から解放するマルチチャンネルアンプシステム。

マルチチャンネルアンプの採用により、音を濁らせるとともに、ユニット設計に様々な規制をもたらすLCネットワークから解放され、あくまでも鮮やかに、空間を埋め

尽くす音場感再現を実現しています。

出力は1台あたり125W、片チャンネル4台で500Wのハイパワーとなっており、スーパーウーファからツイーターまで、すべてを同一回路、同一部品として音の統一につとめるなど、細部まで徹底したクオリティ設計を行い、マニアライクな一品に仕上がっています。

チャンネルフィルタのすべてのパラメータは最適値にセットしてありますが、各ユニットのレベルのみは0.5dBステップ±2.5dBの範囲で調整できるようになっています。入力端子には、ラインレベルのキャンノン端子と、パワーアンプレベルのスピーカ端子を装備しました。

ユニットの素性の良さを

素直に引き出す余裕のエンクロージャ。

エンクロージャの設計にあたっては、容積係数(VF: Volume Factor)という、合理的で新しい考え方を導入し、しかも、エンクロージャのサイズを変えながら、比較試験を行い、最適なVF値を導き出しました。

このVF値を高くすることにより、エンクロージャの内部音圧が低くなるため、音響スティフネスや粘性抵抗を極小化でき、ユニット設計に自由度が増すとともに、スピーカユニットの良さを存分に引き出し、ゆったりと豊かな音を、いとも軽々と再生することに成功しました。

バイオリンやピアノにも使われている

鳴りの美しいハードメーブル材を採用。

エンクロージャの素材には、強さと響きの美しさを持ったアメリカンハードメーブル材を採用しました。

パツフル面は3枚のメーブル材を積層し張り合わせたラミネートコアタイプ、その他の面は縦に張り合わせたランバーコアタイプとし、アメリカンウォールナットの添え芯を

両面に張り合わせた上で、さらにアメリカンウォールナットを両面に張り合わせ、外表面はウレタンオープンポア仕上げとしています。板厚はすべての面で28mm、パツフル面は留め加工としています。

特別仕様のサベリ ウレタン塗装仕上げも用意。

また、標準仕様のウォールナット ウレタンオープンポア仕上げに加えて、西アフリカ産の濃いめのブラウンの色調と美しい縞模様を特徴とする木材で、高級家具やピアノなどの化粧材として用いられる、サベリのウレタン塗装仕上げを外装材に採用した、特別仕様も用意し、インテリアや好みに合わせてお選びいただけます。

【GF-1主な規格】方式:マルチアンプドライブ方式 ●型式:4ウェイ防磁型 ●スーパーウーファ方式:ヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジー方式 ●使用ユニット:30mm金蒸着鍛造ベリリウム・ドーム型ツイーター、88mm金蒸着鍛造ベリリウム・ドーム型スコカ、27cm金蒸着ケブラー・コーン型ミッドウーファ、30cm金蒸着ケブラー・コーン型スーパーウーファ ●ポート口径:100mm×2 ●再生周波数帯域:25~35kHz(-5dB) ●出力音圧レベル(ユニット単位):94dB(ツイーター/スーパーウーファ)、95dB(スコカ/ミッドウーファ) ●クロスオーバー周波数:60Hz・600Hz・4kHz(+12dB/oct、-18dB/oct) ●定格出力:500W/ch(125W×4)(5Ω・至0.005%) ●入力接続/感度:ラインレベル(キャンノン端子)/2V、パワーアンプレベル/20V ●内容積:332ℓ ●キャビネット:アメリカンハードメーブル材 ●外装仕上げ:アメリカンウォールナット/ウレタンオープンポア塗装(標準仕様)、サベリ/ウレタン塗装(特別仕様) ●定格消費電力:360W/ch ●無信号時消費電力:120W/ch ●最大外形寸法:本体710W×1400H×630Dmm、電源部650W×175H×180Dmm ●重量:本体150kg(3ウェイ部:70kg、スーパーウーファ部:80kg)、電源部25kg ※天然木使用のため、外観は一台ごとに異なりますので、ご購入の際はご了承おください。



GF-1(外装材:ウォールナット)



GF-1 S(外装材:サベリ) ※サベリは特別仕様のため、納期については販売店におたずねください。

アクティブ スピーカ システム
GF-1 (ウォールナット) 標準価格 5,000,000円(2台1組・税別) <受注生産>
GF-1s (サベリ) 標準価格 7,000,000円(2台1組・税別) <受注生産>

GFDライブアンプ

GFD-1 至芸のスピーカGF-1を鳴らしきるために生まれた専用ドライブアンプ。

GF-1は、4ウェイマルチアンプシステムによる至芸のグランドフロアスピーカGF-1を、完全に鳴らしきるために設計・チューニングされた専用ドライブアンプです。自然楽器の千変万化する表情を、演奏されている会場の雰囲気もそのままに、余すところなく再現するGF-1の魅力を、GFD-1の登場により100%引き出すことができます。GF-1での開発コンセプトのすべてが踏襲され、ナチュラルさをいっさい損なうことのないよう、すべてが音のためだけに設計されたシンプルな回路構成としています。また機能的には、6ポジションのライン入力とロータリースイッチによる23ポジションのアッテネータを内蔵していますので、CDプレーヤ、GFD-1、GF-1の3コンボでシンプルなシステム構成が完結。アナログプレーヤをご利用の方は、フォノイコライザアンプを接続してください。

GF-1の送り出しバッファ部は、その能力を極限まで高め、高電圧・低インピーダンスのハイクオリティ伝送を実現するため、パワーアンプ構成を採用しています。このためプリメインアンプとしてのご利用も可能です。

【GFD-1主な仕様】GF-1接続時 ●純A級 ●出力電圧/インピーダンス:25V/0.012Ω ●S/N比:128dB ●消費電力:60W <通常スピーカ接続時> ●定格出力:100W+100W(6Ω) ●全高調波歪率:0.003%(6Ω,100W) ●消費電力:240W(4Ω) <総合> ●入力感度/インピーダンス:1.4V/10kΩ ●外形寸法:本体454W×180H×490Dmm、電源部350W×180H×196Dmm ●重量:本体21kg、電源部17kg



GFDライブアンプ GFD-1 標準価格 1,200,000円(税別) <受注生産> アンプ本体と電源トランス部の一体価格です。